



中央市民病院ニュース No.88

INDEX

主席副院長就任のご挨拶	1	呼吸器内科部長代行就任のご挨拶	5
副院長就任のご挨拶	2	間質性肺疾患センター(ILDセンター)	
血液内科部長就任のご挨拶	3	開設について	4
呼吸器外科部長就任のご挨拶	3	医師の異動のお知らせ	6
頭頸部外科部長就任のご挨拶	4	患者さんをご紹介いただく際は	8



主席副院長就任のご挨拶

副院長・消化器内科部長 猪熊 哲朗

このたび、4月1日付で主席副院長を拝命いたしました猪熊哲朗でございます。

これまで、令和3年から3年間、副院長として医療情報システム・診療情報・病床管理を担当してきました。今後は、業務経営改善にも取り組んでまいります。

私が消化器内科部長として赴任したのが2007年でしたので、当院で17年間お世話になったことになります。この間、新型インフルエンザ流行・旧病院から現病院への移転・電子カルテ導入・特定共同指導・医療情報システム更新など、いろいろ貴重な経験をさせていただきました。

また、令和2年より国内でも拡大し、世界中を席巻した新型コロナウイルス感染症では、当院も現在まで2800名を超える新型コロナウイルス感染患者さんの治療に当たってきました。令和2年11月から全国に先駆けて開設したコロナ臨時病棟の運用に際し、医師・看護師などスタッフを柔軟に配置することが必要でした。そのため、木原院長はじめ病院幹部が出席するコロナ・コア会議を毎週のように開催し、時々の流行状況を踏まえて、当院の診療体制・感染対策の

充実などを図ってまいりました。今年になり、この未曾有の感染症が沈静傾向にあることは好ましい状況ですが、我々は、これからも新興感染症に備えた対策を進めてまいります。

また、本年、当院は開院100周年を迎えることができました。大正13年に神戸市長田区に「市立神戸診療所」を開設して以来、神戸市の基幹病院として市民の生命と健康を守ることを最大の使命として、発展してまいりました。これまでの経験と実績を土台として、職員一丸となり、これからの100年へのスタートを切る覚悟であります。

最後に、厚生労働省から発表される「救命救急センター」の評価において、当院は全国304施設中10年連続1位の評価をいただきました。これまでもこれからも神戸医療圏の基幹病院として救急医療・高度先進医療の提供を図ってまいります。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



副院長就任のご挨拶

副院長・循環器内科部長 古川 裕

令和6年4月1日付で副院長に就任いたしました、古川 裕です。

私は平成19年12月より当院に勤務、平成21年4月より循環器内科部長を務めており、今後も兼務することになっております。気が付けば、当院での勤務も17年目を迎えました。その間、当院の重要な責務である救急医療を含む高度急性期循環器診療の充実を常に意識し、より良い医療を提供できる診療科および多職種チームの構築と育成、各メンバーが得意な診療分野で活躍できる場の提供、新しい治療の逸早い導入などを心がけてきました。こうした急性期診療機能を維持するためには、地域の他の医療機関との機能的な連携がとりわけ重要ですが、これまでも多くの医療機関の皆さまに支えていただいております。この場を借りてお礼申し上げ、今後も一層のご協力・ご指導をお願いしたいと思います。

当院の循環器内科は、従来から臨床研究にも力を入れ、国内外の主要学会や英文論文で多くの発表を行い、情報発信に努めてきました。もちろん、目の前の患者さんを全力で診ることが私たちの最も重要な役割ですが、それだけに留まらず、将来の医療の向上に少し

でも寄与したいという皆の意識があつてこそ、こうした学術活動が続けることができているのだと思います。診療とともに研究についても上級医が若手を指導する文化が当科・当院には根付いていますので、これからも大切に繋いでゆくべき重要な財産であると考えております。

自己紹介代わりに主に診療科の話をしていただきましたが、当院開設100周年の節目の年に副院長に任ぜられ、今後はより広い視野から、病院全体さらには地域医療全体への影響を考慮して多くの課題に取り組まなければならないと気を引き締めているところです。病院内の業務としては、臨床研究審査委員会といった審査部門や働き方改革などを主に担当いたします。とくに、医師働き方改革は本年度が適用初年度にあたり、課題は山積しておりますので、大きな責任を感じております。

当院での勤務も長くなったとはいえ、副院長としては新人であり、これからまだまだ学ぶべきことが多いと思っております。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



副院長就任のご挨拶

副院長・脳神経内科部長 川本 未知

2024年4月1日付で副院長を拝命いたしました川本未知と申します。

私は現在脳神経内科部長を兼任しておりますが、ここ数年は、コロナ診療担当として地域の先生方コミディカルの皆様と多く連携させていただく機会があり、また多くのご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。また2019年より働き方改革環境担当として「断らない救急」によって生じる「忙しい」「ブラック」と評されるこの病院の職場環境をいかに働きやすくするかにも取り組んでいました。ハラスメン

トをなくし、休暇制度を心のハードルなくとれることを目標とし、コロナ真っただ中の2021年には「男の育休」キャンペーンも実施しました。「中央市民で？ 男性医師が育休!？」と近隣で驚きをもって迎えられましたが、今や男性育休は定着し順調に増加しています。人手不足の問題はもちろん出てきますが、まずは始めることが大切です。「働く人の事情に応じた多様な働き方を選択できる」職場を次の目標に掲げています。

今回は副院長として患者総合支援・地域連携を中心に担当させていただくこととなりました。高齢の患者さんが急増し、病気は治療できても少しの体調の悪化

で自宅にも施設にも戻れない患者さんがあふれる今の状況は、これまでの病病連携や病診連携では太刀打ちできないところまで来ているというのが私の実感です。どうすれば今の医療を支えられるのか、地域全体の高度な連携と協力が求められていると思います。平成元年京都大学卒業後、神戸出身でなじみのあった当院に赴任した当時は「高度医療センター」と呼ばれる当

院が、どうしてできたのか考えもしませんでした。今は、地域の皆様が我々の仕事を信じて患者を託してくれたからこそ発展してきたことがわかります。これからも時代に即した体制で、地域の皆様とともに神戸の医療を支えられるよう頑張りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

血液内科部長就任のご挨拶

血液内科部長 近藤 忠一



2024年4月1日付で、血液内科の部長を拝命いたしました近藤忠一と申します。

京都生まれ、京都市の生粋の京都人で、1993年京都大学を卒業し、内科研修終了後、1996年より京都大学医学部附属病院にて長らく白血病の基礎研究、血液疾患の臨床、教育に携わってきました。2022年より神戸市立医療センター中央市民病院に異動となり、引き続き当院で診療できることを光栄に思います。

血液内科は、溶血性貧血、再生不良性貧血、血小板減少性紫斑病などの良性血液疾患と、急性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器悪性腫瘍を担当します。本院の「断らない救急」の理念に沿って、紹介いただきましたら、迅速に対応させていただきます。また、主に造血器腫瘍に対して実施される

自家造血幹細胞移植、同種造血幹細胞移植にも従来から積極的に取り組んできております。

近年、造血器腫瘍の治療に多くの分子標的薬剤が用いられるようになりました。特に悪性リンパ腫や急性リンパ性白血病に対してCAR-T細胞療法という画期的な治療法が導入され、本邦でも2019年に保険承認されました。厳密な細胞管理体制が求められるため、CAR-T細胞療法は限られた施設でのみ認可されています（兵庫県内では当院と兵庫医科大学病院の2施設）。他院からCAR-T細胞療法を希望される症例も積極的に当院で治療をお引き受けさせていただきます。また、治験や臨床試験にも積極的に取り組んでおり、難治性の症例にも対応しております。

より良い治療を安心して受けていただけるよう、医局員一同、力を合わせて診療させていただきます。

呼吸器外科部長就任のご挨拶

呼吸器外科部長 濱川 博司



2024年4月1日付で呼吸器外科部長を拝命いたしました濱川博司と申します。

神戸赴任以前は、京都大学医学部大学院にて学んだ後、アメリカ、マサチューセッツ州、ボストン大学生体工学科で、大学院生を指導しながら研究員として働いていました。呼吸器外科医としては、2009年から前任の高橋豊副院長（部長兼任）の指導の下、一人前になることができ、この巡り合わせに感謝しています。

当院は、10年以上もの間、日本一位の救急体制を堅持している病院です。故に、私の外科医としての理想も、患者様の立ち位置から見て疼痛の少ない・低侵襲で・社会復帰が早い治療を探究しています。

当科では、心臓血管外科と食道外科を除いた、胸郭全般の腫瘍、高エネルギー外傷、先天性を含む良性疾患等を診療対象としています。緊急外傷手術に精通していることは当然として、肺がん手術においても、5cm以下の傷一つで行う整容性に優れた“単孔式胸腔鏡下肺

がん手術”を既に450例以上実施しました。従来の多孔式（3ポート以上）手術との比較では、 5.19 ± 2.89 から 3.88 ± 1.52 日（ $p < 0.001$ ）へと、術後在院日数を1.31日も短縮しています。また、日本内視鏡外科学会・呼吸器外科学会が認定する胸腔鏡安全技術認定を単孔式肺葉切除術にて取得しているだけでなく、昨秋からは、卓越したロボット支援手術を熟す山田徹医長を京都大学人事により当院へ迎えることができ、低侵襲のみなら

ず最先端医療も提供できる体制が整っています。

患者様と共に、希望に沿う治療戦略を考え、関連診療科と密に連携し、より効果的かつ生活の質（QOL）を維持するための治療を心がけています。単孔式胸腔鏡下手術・ロボット支援手術手技等に関する相談を含め、安心して受診していただけるよう、努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

頭頸部外科部長就任のご挨拶

頭頸部外科部長 菊地 正弘



2024年4月1日付で、頭頸部外科部長を拝命いたしました菊地正弘と申します。

1999年に京都大学を卒業後、2001年より当院で専攻医として研修し、その後スタッフとして長らく勤めさせていただきました。当院のサバティカル休暇制度により米国ピッツバーグ大学で研究留学させていただいた2年間はあわせると、計18年間当院でお世話になったこととなります。まさに神戸は私の第二の故郷であり、私の医師のキャリアは神戸市立医療センター中央市民病院なくして語れません。帰国後は京都大学に帰学し、5年間頭頸部癌ユニット長として頭頸部癌診療を担当するとともに、頭蓋底センターで多くの経鼻頭蓋底手術を研鑽してきました。医師としての最後

のキャリアはお世話になった当院で行いたく、2023年2月に当院に帰ってきました。

私の臨床の強みは、耳科学・鼻科学・頭蓋底外科学の視点を持った頭頸部癌診療を行えることです。その強みを活かし、通常の頭頸部癌診療に加え、聴器癌・鼻副鼻腔癌・前頭蓋底悪性腫瘍といった希少癌に対し安全かつ確実な手術を行いたいと考えています。また、頭頸部癌の診療は、耳鼻咽喉科頭頸部外科以外の形成外科、歯科口腔外科、放射線治療科、腫瘍内科、消化器内科、消化器外科、緩和ケア科など、多様な専門家からなる広範なチーム医療が必須です。最高のチームを作り、最高の医療を多くの患者さんに提供できればと思っています。

京都大学在籍中は、診療のみならず、医学生・初期研

間質性 肺疾患センター （ILDセンター） 開設について

（2024年4月より）

間質性肺疾患は難病でもある特発性間質性肺炎から、膠原病に伴うもの、粉塵や喫煙、各種抗原吸入に伴うもの、薬剤に起因するもの、コロナのような感染症に伴うもの、他の疾患や治療に合併するものなどがあり、その予後は治癒するものもあれば進行性に線維化が進み呼吸不全に至るもの、突然致死的な急性増悪を起こすものなど多種多様です。診断には診療に習熟した施設で行う専門的な検査や合議が必要で、治療には種々の薬物やリハビリテーション、呼吸管理などの専門的知識と多職種の関わりが求められます。また進行性の病態においては、生涯にわたっての支援や教育、緩和ケアも欠かせません。

当院においてはこれまで呼吸器内科の一分野として、関西圏で

修医・耳鼻咽喉科専攻医への実習・講義といった教育にも力を入れてきました。当院においても、将来の医療を担う若手医師が自発的に考え多角的な視点から患者さんに最適な治療を提供できるよう、学術活動も含めた教育にも注力していこうと考えております。

神戸市立医療センター中央市民病院での長年の勤務を通じて培った経験と知識を、地域医療の発展に貢献

するために活かしていきたいと考えております。また、頭頸部癌治療だけでなく、鼻科診療にも力を入れ、耳鼻咽喉科山本典生部長と連携し、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供していく所存です。今後とも神戸市立医療センター中央市民病院頭頸部外科を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科部長代行就任のご挨拶

呼吸器内科部長代行 立川 良

2024年4月1日付で呼吸器内科部長代行を拝命いたしました立川 良と申します。

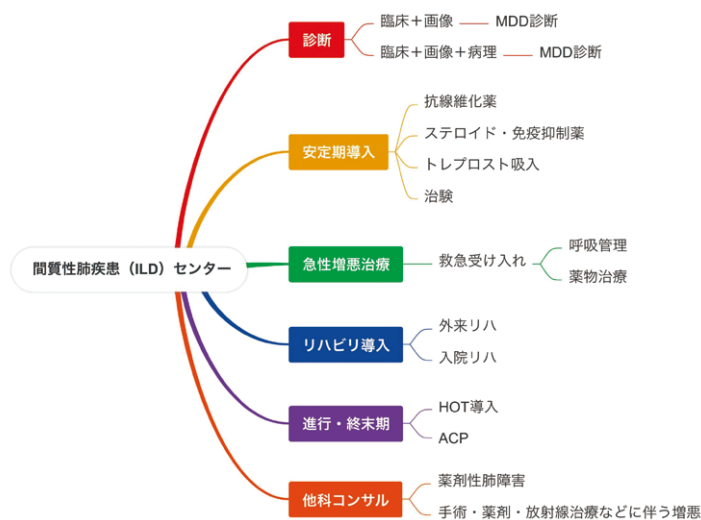
2004年に京都大学を卒業し、当院で初期研修・後期研修を行った後、大学院で研究に従事した4年間を除いて、当院で呼吸器内科の臨床に携わってまいりました。これまで皆様から賜りましたご厚情とご指導に心から感謝申し上げますとともに、新たな責務を全うできるよう、微力ながら尽力してまいります所存です。

呼吸とは、中枢(脳)から末梢(気道・肺・筋肉)の複雑な協調によって均衡を保たれた生命維持機能であり、全身をめぐる血液と外界との接点でもあります。呼吸器内科の診療では、呼吸という生命のリズムを全身的な視点で解析し、感染症・腫瘍・アレルギー・睡眠など多様な分野に精通することが求められます。今後も多科連

携・多職種連携・多施設連携の核として当科の果たすべき役割を自覚し、多様性と協調性を備えた医療人を育てる環境を創っていきたく存じます。さらに、多疾患併存の高齢化社会にあっては、医療の原点—医療は人のためにあり、人を助けるためにある—に回帰する意識が欠かせません。疾患の治療や急性期医療の枠にのみ自足することなく、患者の皆様と生活を守るための医療を展開していきたいと存じます。

当科はこれまで前々部長の石原享介先生、前部長の富井啓介先生など歴代部長のご指導の下、近隣の医療機関と連携し、市民の健康を守るため尽力してまいりました。伝統と信頼を受け継ぎ、さらに新しい医療への発展を目指して精進してまいります。引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

も有数の患者さんの診療に関わってきましたが、今回さらに一層ILDの認知度を向上させ、より多くの患者さんに適切な治療とケアを届けられるように専門のセンターを立ち上げました。未診断でよくわからない画像で対応に困る患者さん、急速に呼吸不全が進行する患者さん、次第にADLが低下して対応に苦慮する患者さん、がんや膠原病の治療中に発症してきた患者さんなどなど、院内外を問わずあらゆるILD患者さんのサポートを行なっていきたいと考えています。



地域連携のお知らせ

連携登録医にご登録ください

当院では、患者さんが地域で安心して継続した医療を受けられるよう、当院と連携・協力して安全で質の高い医療を提供される市内医療機関の先生方を「連携登録医」として登録する制度を設けています。

連携登録医として登録していただく

1. 紹介患者さんに対する診療および入院の対応を迅速に行うよう努めます
2. 紹介患者さんの診療記録を当院で閲覧できます
3. 当院の患者さんがかかりつけ医を探される場合に紹介いたします
4. 図書室など当院の施設・設備を利用できます（ご利用になれない施設・設備もあります）
5. 来院時の駐車場料金を無料にします
6. 当院が公開して行う症例検討会、研修会、講演会等に自由にご参加いただけます
7. 病院ニュースやオープンカンファレンス・講演会の開催情報などをE-mailでお送りいたします
8. 「連携登録医証」「インターネット紹介予約システムご利用ID・パスワード」を発行いたします

新たに下記の先生方にご登録いただきました。

なお、連携登録医療機関一覧は、当院ホームページにも掲載しております。

中央市民病院の
ホームページ

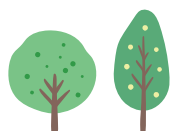
医療関係者の方へ

患者総合
支援センター

連携登録医

新規連携登録 医療機関

R5.12.15～R6.4.1時点
区別住所50音順で
掲載しております



区	連携登録医療機関	住所
東 灘 区	メディクス東灘クリニック	神戸市東灘区田中町 3-13-17-102
東 灘 区	頭痛・認知症もりた脳神経外科クリニック	神戸市東灘区住吉宮町 3丁目8-3
東 灘 区	甲南山手おしたにクリニック	神戸市東灘区森北町 1-6-25
灘 区	松本内科・呼吸器クリニック	神戸市灘区篠原南町 2-4-5
灘 区	さわだ歯科	神戸市灘区八幡町 4-5-8-1F
中 央 区	mammaria kobe	神戸市中央区下山手通 3-1-21
中 央 区	ふくや皮フ科クリニック	神戸市中央区下山手通 2丁目11-12
中 央 区	スマイルクリニック	神戸市中央区八幡通 3丁目2-5
中 央 区	山の手内科クリニック	神戸市中央区再度筋町 5-9-1
兵 庫 区	岩崎内科クリニック	神戸市兵庫区下沢通 6-1-28
北 区	医療法人優美会 シラセ歯科	神戸市北区唐櫃台 2-11-5

医師の異動のお知らせ



退職・転出 | 3月～5月

退職・転出				退職・転出				退職・転出			
診療科	補職	氏 名	異動日	診療科	補職	氏 名	異動日	診療科	補職	氏 名	異動日
脳神経内科	医長	高杉 純司	1月31日	麻酔科	医長	山下 博	3月31日	頭頸部外科	部長	篠原 尚吾	3月31日
産婦人科	専攻医	吉村佳与子	1月31日	麻酔科	副医長	土田 高裕	3月31日	脳神経内科	任期付医師	荒木 健	3月31日
消化器内科	専攻医	高折 克至	2月29日	総合内科	医長	金森 真紀	3月31日	循環器内科	専攻医3年次	一柳 知宏	3月31日
消化器内科	専攻医	藪島 貴成	2月29日	総合内科	副医長	丸山 尊	3月31日	循環器内科	専攻医3年次	中村 葉奈	3月31日
救急科	任期付医師	田中 達也	3月31日	総合内科	副医長	城田 祥吾	3月31日	循環器内科	専攻医2年次	伊堂寺 諒	3月31日
呼吸器外科	部長	高橋 豊	3月31日	感染症科	任期付医師	山本 大	3月31日	循環器内科	専攻医2年次	岡田あずさ	3月31日
呼吸器外科	副医長	栢分 秀直	3月31日	脳神経外科	医長	武田 純一	3月31日	循環器内科	専攻医2年次	奥田 豊生	3月31日
血液内科	部長	石川 隆之	3月31日	脳神経外科	医長	坂井 千秋	3月31日	循環器内科	専攻医1年次	大森 葉奈	3月31日
呼吸器内科	部長	富井 啓介	3月31日	脳神経外科	副医長	高野 裕樹	3月31日	循環器内科	専攻医1年次	西 宏敏	3月31日
呼吸器内科	任期付医師	古田 勝之	3月31日	脳神経外科	副医長	寺西 邦匡	3月31日	糖尿病・内分泌内科	専攻医2年次	石黒 太郎	3月31日
産婦人科	副医長	奥立みなみ	3月31日	脳神経外科	任期付医師	中嶋 広太	3月31日	糖尿病・内分泌内科	専攻医2年次	野村 拓未	3月31日
循環器内科	医長	岡田 大司	3月31日	脳神経外科	副医長	染矢 祐子	3月31日	腎臓内科	専攻医2年次	三島奈都美	3月31日
小児科・新生児科	医長	青田 千恵	3月31日	放射線診断科	副医長	吉田 篤史	3月31日	腎臓内科	専攻医1年次	桂 健介	3月31日
小児科・新生児科	任期付医師	佐伯 玲	3月31日	放射線治療科	医長	今輩倍敏行	3月31日	腎臓内科	専攻医1年次	林田 珠奈	3月31日
麻酔科	集中治療フェロー	嶋田 博樹	3月31日	心臓血管外科	医長	中村 健	3月31日	腎臓内科	専攻医1年次	堀川聖之輔	3月31日

退職・転出			
診療科	補職	氏名	異動日
脳神経内科	専攻医3年次	太田 和馬	3月31日
脳神経内科	専攻医3年次	辻村 敦史	3月31日
脳神経内科	専攻医2年次	吉田 匡伸	3月31日
脳神経内科	専攻医2年次	幸地 宏樹	3月31日
消化器内科	専攻医3年次	森久 芳樹	3月31日
消化器内科	専攻医3年次	田中 晃輔	3月31日
消化器内科	専攻医2年次	森 敬之	3月31日
消化器内科	専攻医2年次	三木 秀晃	3月31日
消化器内科	専攻医2年次	三宅 雄大	3月31日
消化器内科	専攻医2年次	大島 章裕	3月31日
消化器内科	専攻医1年次	山村総一郎	3月31日
呼吸器内科	専攻医3年次	貴志 亮太	3月31日
呼吸器内科	専攻医2年次	伊部 匡晃	3月31日
呼吸器内科	専攻医1年次	笹田 剛史	3月31日
血液内科	専攻医3年次	仲 亮祐	3月31日
血液内科	専攻医3年次	山田 健大	3月31日
血液内科	専攻医2年次	天ヶ瀬寛記	3月31日
血液内科	専攻医2年次	岡田 慎理	3月31日
血液内科	専攻医1年次	山田 智彦	3月31日
膠原病・リウマチ科	専攻医2年次	山口 宏和	3月31日
膠原病・リウマチ科	専攻医2年次	寺前 友樹	3月31日
膠原病・リウマチ科	専攻医1年次	加地 紫苑	3月31日
総合内科	専攻医3年次	梅本 大地	3月31日

退職・転出			
診療科	補職	氏名	異動日
総合内科	専攻医3年次	南井 崇宏	3月31日
総合内科	専攻医2年次	松本 泰葉	3月31日
総合内科	専攻医2年次	新宮 資央	3月31日
総合内科	専攻医1年次	鳥居 融	3月31日
精神・神経科	専攻医3年次	杉本 竜平	3月31日
精神・神経科	専攻医2年次	浅井佳奈恵	3月31日
小児科・新生児科	専攻医3年次	山根 徹也	3月31日
小児科・新生児科	専攻医1年次	平井 章太	3月31日
小児科・新生児科	専攻医1年次	上原 和太	3月31日
産婦人科	専攻医3年次	元山 貴仁	3月31日
産婦人科	専攻医2年次	山田野々花	3月31日
皮膚科	専攻医2年次	那須 愛	3月31日
皮膚科	専攻医2年次	藤井 洋介	3月31日
病理診断科	専攻医2年次	大谷 宗理	3月31日
放射線治療科	専攻医2年次	徳田 和樹	3月31日
放射線診断科	専攻医2年次	文元 方哉	3月31日
放射線診断科	専攻医2年次	堂畑 慶之	3月31日
脳神経外科	専攻医4年次	榛本 悠嗣	3月31日
脳神経外科	専攻医4年次	山元 康弘	3月31日
泌尿器科	専攻医3年次	神戸 貴成	3月31日
耳鼻咽喉科・漢方科	専攻医4年次	濱本 文美	3月31日
耳鼻咽喉科・漢方科	専攻医3年次	上田 啓史	3月31日
整形外科	専攻医4年次	齋藤 遼平	3月31日

退職・転出			
診療科	補職	氏名	異動日
整形外科	専攻医4年次	坂上 功次	3月31日
整形外科	専攻医4年次	竹原 元司	3月31日
整形外科	専攻医3年次	坂本 祐志	3月31日
救急部	専攻医3年次	柳原喜美子	3月31日
救急部	専攻医3年次	渡部 博明	3月31日
救急部	専攻医2年次	池田 廉	3月31日
救急部	専攻医1年次	下川 岳人	3月31日
麻酔科	専攻医4年次	木村 拓哉	3月31日
麻酔科	専攻医4年次	宮沢 嘉英	3月31日
麻酔科	専攻医4年次	池垣 友康	3月31日
麻酔科	専攻医4年次	三宅 悠介	3月31日
麻酔科	専攻医3年次	松田 龍太	3月31日
麻酔科	専攻医3年次	樺田 紗季	3月31日
麻酔科	専攻医2年次	カイザ(庵中)梅花	3月31日
外科	専攻医3年次	口分田 亮	3月31日
外科	専攻医3年次	栗根 健太	3月31日
外科	専攻医2年次	小山 達也	3月31日
外科	専攻医2年次	土佐 明誠	3月31日
呼吸器外科	専攻医3年次	高山 昌和	3月31日
心臓血管外科	専攻医3年次	鎌田 賢昇	3月31日
形成外科	専攻医4年次	宮田佑里恵	3月31日
歯科・歯科口腔外科	専攻医3年次	尾古 怜佳	3月31日

採用 | 4月~6月

採用			
診療科	補職	氏名	異動日
耳鼻咽喉科	医長	大八木誠児	2月1日
産婦人科	専攻医	中村 美裕	2月1日
消化器内科	専攻医	上野昌太郎	3月1日
消化器内科	専攻医	坂野 利樹	3月1日
救急科	専攻医	亀井 裕子	3月1日
麻酔科	専攻医	安田 絢子	3月1日
救急科	任期付医師	陳 美仁子	4月1日
救急科	任期付医師	高橋知佳子	4月1日
外科	医長	佐治 雅史	4月1日
外科	任期付医師	中尾 海	4月1日
呼吸器外科	副医長	横山 雄平	4月1日
呼吸器外科	任期付医師	高山 昌和	4月1日
呼吸器内科	任期付医師	森田 亮太	4月1日
産婦人科	医長	北村 幸子	4月1日
産婦人科	任期付医師	浅井 麻由	4月1日
循環器内科	副医長	林 秀幸	4月1日
消化器内科	任期付医師	森久 芳樹	4月1日
小児科・新生児科	任期付医師	山根 徹也	4月1日
小児科・新生児科	任期付医師	堤 英世	4月1日
小児科・新生児科	任期付医師	松浦 想	4月1日
小児科・新生児科	任期付医師	長沢 晋也	4月1日
麻酔科	集中治療フェロー	田口 郁也	4月1日
麻酔科	集中治療フェロー	野間 光貴	4月1日
麻酔科	任期付医師	宮沢 嘉英	4月1日
麻酔科	任期付医師	木村 拓哉	4月1日
総合内科	医員	梅本 大地	4月1日
総合内科	医員	南井 崇宏	4月1日
脳神経外科	医長	高原 正樹	4月1日
脳神経外科	副医長	石川 友美	4月1日
脳神経外科	副医長	宮田真友子	4月1日
脳神経外科	医員	笠島 一洋	4月1日
脳神経外科	任期付医師	山元 康弘	4月1日
放射線診断科	副医長	田川 弘	4月1日
放射線治療科	副医長	稻生 浩之	4月1日
精神・神経科	医員	橋本 隆志	4月1日
心臓血管外科	任期付医師	鎌田 賢昇	4月1日
脳神経内科	副医長	細木 聡	4月1日
脳神経内科	任期付医師	野村 倫子	4月1日
脳神経内科	任期付医師	太田 和馬	4月1日
乳腺外科	副医長	大山 友梨	4月1日
循環器内科	専攻医3年次	長谷川雄平	4月1日
循環器内科	専攻医2年次	藤井 鈴香	4月1日
循環器内科	専攻医2年次	見目 和範	4月1日
循環器内科	専攻医2年次	島田 真武	4月1日

採用			
診療科	補職	氏名	異動日
循環器内科	専攻医1年次	宮崎 惇	4月1日
循環器内科	専攻医1年次	北野 泰輝	4月1日
循環器内科	専攻医1年次	小野 謙騎	4月1日
糖尿病・内分泌内科	専攻医3年次	村部 公亮	4月1日
糖尿病・内分泌内科	専攻医2年次	井上 幹造	4月1日
糖尿病・内分泌内科	専攻医1年次	倉田真由香	4月1日
糖尿病・内分泌内科	専攻医1年次	永田 愛結	4月1日
腎臓内科	専攻医3年次	福田 結以	4月1日
腎臓内科	専攻医3年次	村田 幹	4月1日
腎臓内科	専攻医2年次	井手 菜月	4月1日
腎臓内科	専攻医2年次	鹿野友美夏	4月1日
腎臓内科	専攻医1年次	酒井梨恵子	4月1日
腎臓内科	専攻医1年次	西山雄太郎	4月1日
脳神経内科	専攻医3年次	岡 良祐	4月1日
脳神経内科	専攻医3年次	森内 俊達	4月1日
脳神経内科	専攻医1年次	島田 運生	4月1日
脳神経内科	専攻医1年次	植田 健太	4月1日
消化器内科	専攻医3年次	押川 大介	4月1日
消化器内科	専攻医3年次	藤尾 行恵	4月1日
消化器内科	専攻医3年次	徳富佑太郎	4月1日
消化器内科	専攻医3年次	阪本万規穂	4月1日
消化器内科	専攻医1年次	三宅 雄也	4月1日
消化器内科	専攻医1年次	宇山 航平	4月1日
呼吸器内科	専攻医2年次	の場 智也	4月1日
呼吸器内科	専攻医2年次	大倉 千明	4月1日
呼吸器内科	専攻医1年次	西田 湧也	4月1日
呼吸器内科	専攻医1年次	青木 勝平	4月1日
血液内科	専攻医4年次	久保 茂世	4月1日
血液内科	専攻医4年次	光行 智司	4月1日
血液内科	専攻医2年次	水口 昌俊	4月1日
血液内科	専攻医1年次	大澤 開	4月1日
血液内科	専攻医1年次	安田 悠真	4月1日
膠原病・リウマチ科	専攻医1年次	井上 将	4月1日
膠原病・リウマチ科	専攻医2年次	岡本 樹	4月1日
総合内科	専攻医3年次	岩下 晶穂	4月1日
総合内科	専攻医2年次	山下 新菜	4月1日
総合内科	専攻医2年次	北川菜々子	4月1日
総合内科	専攻医2年次	宇田 早希	4月1日
総合内科	専攻医1年次	樟 莉子	4月1日
総合内科	専攻医1年次	佐々木太一	4月1日
腫瘍内科	専攻医2年次	矢土 士彦	4月1日
精神・神経科	専攻医3年次	金田 浩平	4月1日
精神・神経科	専攻医1年次	谷口 美帆	4月1日
小児科・新生児科	専攻医3年次	木原 崇志	4月1日

採用			
診療科	補職	氏名	異動日
小児科・新生児科	専攻医1年次	伊藤 淳	4月1日
産婦人科	専攻医3年次	馬場 航平	4月1日
産婦人科	専攻医2年次	原岡 優子	4月1日
産婦人科	専攻医1年次	時元 奈帆	4月1日
産婦人科	専攻医1年次	渡邊 怜子	4月1日
皮膚科	専攻医1年次	田中 怜奈	4月1日
病理診断科	専攻医1年次	内本 梓	4月1日
病理診断科	専攻医1年次	山川博之介	4月1日
放射線治療科	専攻医1年次	矢野 友章	4月1日
放射線治療科	専攻医1年次	小久保真矢	4月1日
放射線治療科	専攻医1年次	望月 悠希	4月1日
放射線診断科	専攻医3年次	野田 敏行	4月1日
放射線診断科	専攻医1年次	番 健仁	4月1日
放射線診断科	専攻医1年次	若月 開	4月1日
脳神経外科	専攻医3年次	野本未佳子	4月1日
脳神経外科	専攻医3年次	羽生 敬	4月1日
脳神経外科	専攻医2年次	大賀 勇範	4月1日
泌尿器科	専攻医1年次	大林 立樹	4月1日
耳鼻咽喉科・漢方科	専攻医1年次	宮田 大道	4月1日
耳鼻咽喉科・漢方科	専攻医1年次	奥田 奈子	4月1日
整形外科	専攻医2年次	原 武史	4月1日
整形外科	専攻医1年次	谷本 将崇	4月1日
救急科	専攻医1年次	石橋 拓恵	4月1日
救急科	専攻医1年次	神野 一平	4月1日
救急科	専攻医3年次	三宅 剛雄	4月1日
救急科	専攻医1年次	岩見 卓保	4月1日
救急科	専攻医1年次	木村 星斗	4月1日
麻酔科	専攻医4年次	滝西 史麻	4月1日
麻酔科	専攻医2年次	宇山 祐樹	4月1日
麻酔科	専攻医1年次	前田 拓哉	4月1日
麻酔科	専攻医1年次	大西 洋志	4月1日
麻酔科	専攻医1年次	岡野 宏哉	4月1日
麻酔科	専攻医1年次	村中 要公	4月1日
麻酔科	専攻医1年次	齊藤 成美	4月1日
麻酔科	専攻医1年次	前 拳太郎	4月1日
麻酔科	専攻医1年次	笠島 奈央	4月1日
外科	専攻医3年次	山川 祐奈	4月1日
外科	専攻医1年次	有野 寛人	4月1日
外科	専攻医1年次	木村 友栄	4月1日
心臓血管外科	専攻医3年次	二木 大輝	4月1日
乳腺外科	専攻医1年次	増田みなみ	4月1日
歯科・歯科口腔外科	専攻医1年次	栗野明日香	4月1日

患者さんをご紹介いただく際は…

FAX・インターネットでご予約ください

地域の医療機関の先生方からご紹介いただく患者さんの待ち時間を短縮するため、診察・検査の紹介予約を受付しています。紹介予約の方は予約時間どおり受診できるように努めておりますので、ぜひご利用ください。

FAX予約

- FAX予約申込時、申込書に診療経過等の記載がなくてもFAX予約は可能です。診療情報はその日のうちに記入し、再送信してください。
- 患者さんのご都合がはっきりしない場合でも仮予約をお取りください。仮予約後、患者さんご自身で予約変更が可能です。患者総合支援センターへ電話で連絡をしていただくようお願いください。

1. 「FAX予約申込書」を当院患者総合支援センターへ送信してください。【簡易手続記載例を参照ください】
 - 1) 「FAX予約申込書」様式の上段赤枠のみ記載ください（検査依頼については専用の検査様式をご使用ください）。
 - 2) 後ほど予約申込日中に下段青枠に追記してから再送ください。
2. 「予約報告書（上段）兼初診予約券（下段）」を返信します。
3. 「予約報告書（上段）」は貴院で保管し、「初診予約券（下段）」および「診療情報提供書（紹介状）」を患者さんに手渡してください。

手順

神戸市立医療センター中央市民病院 患者総合支援センターへ送付するFAX予約申込書（※）を提出していただく必要があります。

※ 予約済みで下欄追記の場合はチェックを入れてください。 □ 外来予約申込済み

神戸市立医療センター中央市民病院 患者総合支援センター FAX078-302-2251 TEL078-302-6031

1 まず赤枠のみ記入して送信してください。

2 お手すきの際に青枠に追記して再送してください。もしくは、貴院様式の診療情報提供書を追加送信してください。

インターネット紹介予約

インターネットで診察予約申込と予約券出力が可能です。

当院ホームページ > 医療関係者の方へ

> 一般外来紹介予約 > インターネット紹介予約はこちら

PET/CT 検査依頼のご案内とお願い

放射線技術部

● 当院のPET/CT検査について

2017年11月より、地域医療機関の先生方からのPET/CT検査依頼に対応可能となりました。

当院は、サイクロトロンを備えており、PET薬剤（FDG）は、院内で合成し、品質検定に合格したものを使用しています。そのため、体重により適量のPET薬剤を投与することが可能となり、安定した画像の提供を行っています。

2018年3月に「5リング搭載高感度型PET/CT装置（GE Healthcare社製 Discovery IQ）」が導入され、従来の装置に比べ、低被ばくで高画質の検査が可能となりました。

また現在、検査予約待ちがほぼない状態で、患者様のご希望に添った検査予約が可能となっております。



● 地域医療機関の先生方へのお願い

FDG-PET/CT検査は、悪性腫瘍（早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む）において保険の適用となり、検査目的は病期診断、再発・転移診断となっております。悪性腫瘍の疑いなどの良悪性鑑別、治療効果判定（悪性リンパ腫を除く）は、保険の適用外となりますのでご注意ください。

また、他の画像診断により病期診断、再発・転移診断が確定できない場合に限り、FDG-PET/CT検査を受けられる前に、必ずCT・MRIの画像検査を施行し、画像データを持参していただきますようお願いいたします。



地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
 Kobe City Medical Center General Hospital
 〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-1-1
 代表 Tel: 078-302-4321 Fax: 078-302-7537
 FAX予約 Tel: 078-302-6031 Fax: 078-302-2251
 患者総合支援センター Tel: 078-302-4321(代) Fax: 078-302-4424

緊急受診・転院のお問い合わせは

専用ダイヤル: 078-302-5172

【平日 9:00~17:00】 患者総合支援センター
 【上記以外の時間帯】 救急外来受付

脳卒中ホットライン
 078-302-8030

産科ホットライン
 078-302-5104

胸痛ホットライン
 078-302-6162

小児科ホットライン
 078-302-5343